

くらだいらちいきかんきょうほぜんかい  
倉平地域環境保全会（安曇野市）

・組織の活動面積	A= 20.61 ha
・組織の構成員数	約 40 人

組織形態	共同活動 ■	中山間直接支払 □	向上活動 ■
取組開始年度	平成25年～	—	平成25年～

構成員	農家、非農家、子供育成会
-----	--------------

○組織の概要

倉平耕地は北アルプスの常念岳(2,857m)に源を発する烏川の扇状地に位置していますが、拾ヶ堰の用水により、安曇野市を代表する風光明媚な田園風景の一部を呈しています。

過去においては、典型的な農家主体の集落で構成されていましたが、現在は、半数以下の30%台となり、更に兼業農家が殆どとなっています。このため”川普請””道普請”は過去の行事となり、地域のつながりが少なくなるとともに、自然への関心も薄くなってきておりました。

この度「倉平環境保全会」を発足させ、忘れられた農地や農業施設の維持管理と農村環境の保全向上を図るために、耕地住民が一体となった保全活動を開始しました。

安曇野の田園環境を農地・水に目を向け将来に残しましょう

平成25年10月8日の設立総会により発足しました。構成員は39名で耕地戸数の約55%を占め、そのうち農家参加者は約46%、他は非農家で構成されています。

設立総会後に参加者全員でパッチリ活動開始前「耕地の守り神」道祖神の前で参加者の安全祈願。



活動対象となる、農用地は約20ha、用水路が約4kmほどあり拾ヶ堰より5箇所に分水口により、農地への用水の供給がされています。  
更に農道等は、約1km程度ありますが、以前は農地耕作者の協力により単独に作業が行われていました。この活動により、地域内の除草等が一斉に行われ、景観保全に貢献します。



【保全会だより1号】



【子ども会れんげ畑】

【石積水路の保全】



子供達の「故郷の思い出」作りとして、れんげそう田での遊びや、小川でのかに探し、蛍の舞う田舎が思い出されるように、現在の環境を維持しながら保全します。  
さらに活動状況を住民の皆さんに理解していただくために広報活動も行います。